



National
Institute of
Technology,
Kumamoto
College
Yatsushiro
Campus Alumni
Association

熊本高等専門学校八代キャンパス 楷友会会報

After 5

Vol. 27

2019.6.30

Official Homepage ▶ <http://after5.y.kumamoto-nct.ac.jp/>

〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627〔熊本高専八代キャンパス内〕 Tel 0965-53-1211 Fax 0965-53-1219 E-mail after5@kumamoto-nct.ac.jp

2度目のロボコン大賞受賞

専攻科生産システム工学1年 森崎 弘樹 (現ロボコン部コーチ)

「全国大会優勝」を目標に始まった私たちのロボコン2018のルールはネット上で人気の「ボトルフリップ」という技にロボットが挑戦するものでした。操縦して動かす「手動ロボット」と高専ロボコン初となる自分たちでプログラムした「自動ロボット」の2台のロボットで8つのテーブルに向かってペットボトルを投げて得点を競うルールでした。テーブルの上でペットボトルが立った場合にだけ得点となるため、正確な射出機構が求められます。しかも中央にあるテーブルは5点とれるのですが2.4mもありここにいかにペットボトルを立たせられるかが勝利の鍵となります。準決勝からは「Vゴール方式」になり相手より早く8つのテーブル全てにペットボトルを置いた方が勝利となります。

私たちはルールが発表されてから「合体して大量得点」と「二台がそれぞれ動作し高速Vゴール」のモードチェンジができるロボットのアイデアで、得点とVゴールどちらでも確実に勝利できることを目指して製作しました。

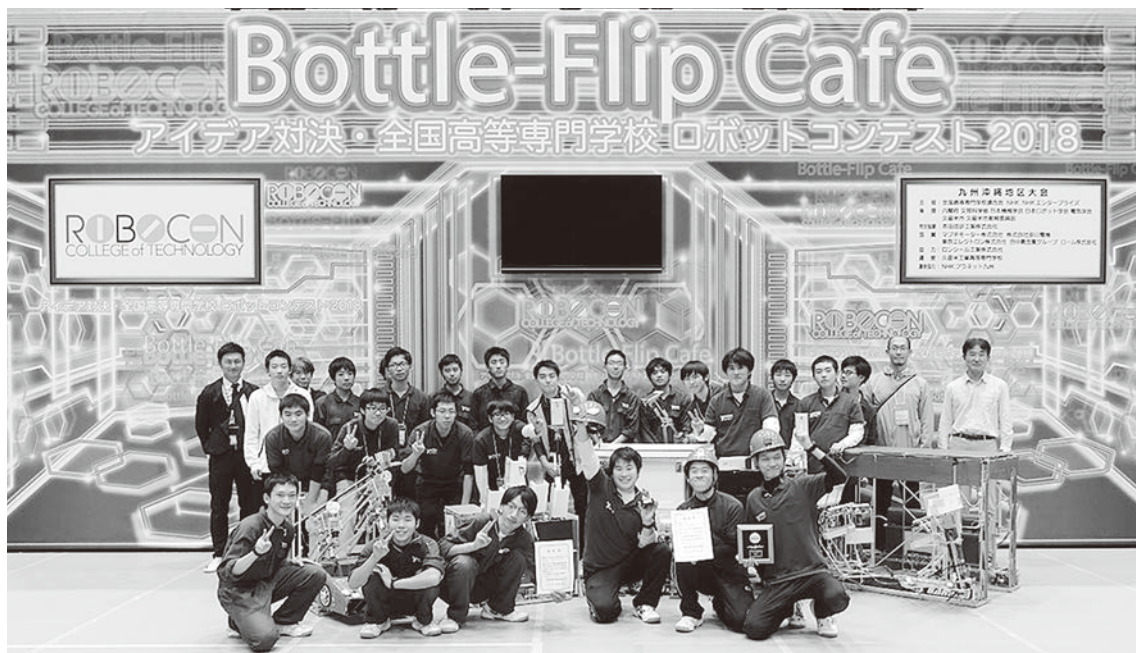
地区大会では一回戦で地区最高得点となる43点を取ることができ、審査員推薦で3年ぶりの全国大会出場をやっとの思いで決めました。しかし他の地区でも良いロボットが続々と出ており、私たちは、大きな焦りを感じこう思いました。「このままでは全国では絶対に優勝できない。」

全国大会まで一カ月とない間、私たちは自分たちのロボッ

トに足りないものを常に考え、ロボットの安定性、Vゴールできる速度短縮、得点の最大値を上げることこれらの改良を毎日のように続けました。

そして迎えた全国大会当日、私たちの初戦が始まりました。この試合に私たちの持てるすべてをかけて挑みました。見事にロボットがペットボトルを10本2.4mのテーブルに乗せた瞬間、国技館全体からの大きな歓声・どよめきが聞こえ私たちの喜びは一気に爆発しました。ほかのテーブルにも10本立てることができ、大会最高得点である60点を獲得することができました。二回戦目からも安定して試合をすることができ、準決勝まで勝ち進みました。

準決勝からはルールがVゴール方式になるので私たちはロボットをモードチェンジして試合にのぞみました。開始直後、ロボットが発射したペットボトルは想定していない方向に傾き、2.4mのテーブルに立たせることが出来ませんでした。このようなペットボトルの飛び方はこの半年間一度もありませんでした。他のテーブルには全て立たせ終わった後に2.4mのテーブルに2分間何回も挑戦したのですが時間切れになり得点差で負けてしまいました。私たちの一年間は残念ながらベスト4という結果で終わってしまい「全国優勝」という目標には届きませんでした。しかし、大会最高記録である60点、Vゴールのために合体からモードチェンジするという唯一無二なアイデアが評価され



九州沖縄地区大会 (久留米市みづま総合体育館)

見事ロボコン大賞を受賞することが出来ました。また全国出場校が投票するロボコン投票で1位、SNSで一番盛り上がった所に贈られるバズコン大賞も受賞することができました。

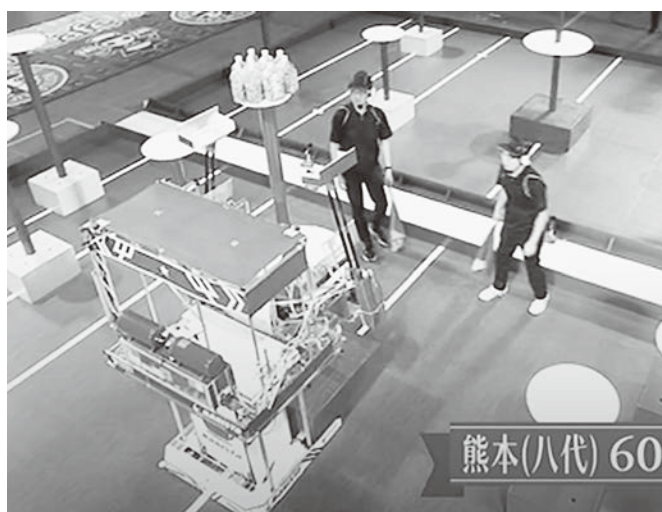
八代は2016、2017年と2年間全国大会に行けず悔しい思いをしてきました。

今年こそはと部員一同例年以上に熱意を持って、「全国大会出場」「全国優勝」を目標に、多くの実験、改良、練習を重ね「いかに多くのペットボトルを乗せるか」「いかに速くVゴールを達成するか」を追求し無我夢中でロボットを製作していきました。その努力が実を結び今回の結果に至ったかと思えます。「ロボコン大賞」という最も栄誉ある賞を受賞することで日々の活動の充実感や達成感を感じることができ、ものづくりの面白さや難しさを改めて知ることができました。

最後になりましたが私たちロボコン部にご支援・ご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。これからも「強豪八代」を目指して部員一同頑張っていきたいと思しますので今後とも応援よろしくお祈いします。



著者は後列左端



全国大会で最高得点(60点)をマークした瞬間



正面玄関に展示してあるバリスタ



令和元年度のロボコン部員

学生プロジェクト (SLOPER) のNI Student Design Showcase 2018 世界トップ10入賞について

機械知能システム工学科 山下 徹 (SLOPERプロジェクト顧問)

八代高専および熊本高専八代キャンパスの卒業生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。機械知能システム工学科（以下、MI）で教員をしている山下（2004年機械電気工学科着任）です。本稿では、この春に卒業しました5MIの5名が2017～2018年度にかけて取り組み、大きな成果を残しましたSLOPERプロジェクトについて紹介します（詳細は、熊本高専HPの受賞等2018.06.20付の記事をご覧ください）。

【コンテストについて】「National Instruments Student Design Showcase 2018」は、計測器・制御の世界的メーカーで米国に本社を置くナショナルインスツルメンツ社（以下、NI社）が主催する学生プロジェクトのコンテストです。参加チームには、NI社の計測制御装置を利用した各々の課題解決が求められ、2018年には、テキサス大学やデンマーク工科大学など世界トップレベルの大学も含め50以上のプロジェクトが参加しました。英文書類での審査が行なわれ、トップ3はNI社でのプレゼン審査に進みます。なお日本では、国内予選の位置付けとして「高専生向けNI myRIO組込システム開発コンテスト2018」が日本支社と高専機構主催で行なわれ、書類審査とプレゼン、実演にて参加プロジェクトが競われました。

【学生の努力と成果】SLOPERプロジェクトは当時4MIの本山君、森本君、湯野君、カン君、シリージ君で結成されたもので、既存の屋内用電動車いすの機能追加による更なるバリアフリー化を目指し、画像処理とセンシング、自己位置推定によるスロープ昇降と屋内自動運転、障害物回避の実現に取り組みました。

技術的に大きな問題は2つで、学生達は多くの時間を検討・製作・調整に費やしました。1つは駆動制御信号がブラックボックス化されたモータを如何に外部（myRIOマイコン）から制御するかで、コントローラを分解して様々な駆動条件下でのコントローラ出力信号をオシロスコープで測定し、解析することで制御方法を明らかにしました。もう1つは車いすを現在位置から目標位置までどのようなルートで移動させるかで、移動想定エリアを多点ノード化して最短ルート計算を行ない、経路上のノードを中継点として通過していく方法を考案しました。その結果、障害物に対しても経路上の危険なノードを障害物を中心とする円周上に移動させるだけで回避が可能となりました。

またプレゼンに向けては、資料作成や動画編集、発表練習をコンテスト前日の深夜まで頑張りました。その結果、国内大会では初出場ながら優秀賞と世界大会への推薦を頂くことができました。世界大会に向けては、1週間という短期間で全ての書類の英文化に取り組みました。プロジェクトをより理解していただけるよう説明内容を繰り返し見直して、切迫時刻ギリギリでの書類提出となりましたが、その結果、世界トップ10のプロジェクトの1つとして選出して頂きました。

【活動の様子写真】ここでは、主に国内大会時の写真を紹介します。



【活動に対する担当者や学生の感想等】（学生）自分達のプロジェクトについて世界中3,000人以上のエンジニアがNI社のサイトを見て認めてくれたことが非常に嬉しかったと共に大きな自信になりました。（担当教員）世界中のトップレベルの大学も含めてトップ10に入ったことは大きな衝撃であるとともに高専という規模の小さい学校であっても豊かなアイデアと創意工夫で勝負できること、そして高専生の技術力と問題解決力の高さを再認識しました。

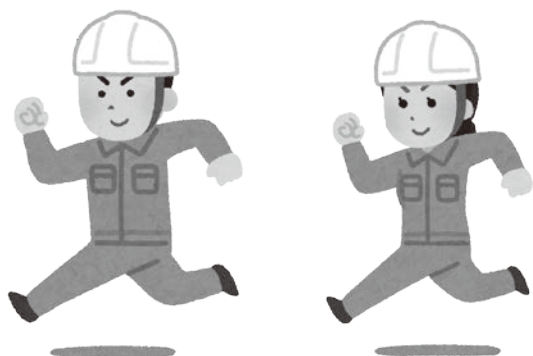
「Japan Steel Bridge Competition 2018」で総合優勝！

建築社会デザイン工学科 岩坪 要

2018年9月11日(火)～12日(水)にかけて、摂南大学(大阪府)で「Japan Steel Bridge Competition 2018(JSBC2018)」で熊本高専チームが総合優勝を勝ち取りました！大会に参加したのは建築社会デザイン工学科の5年生の代表6名(右上の写真の左から順に猪原君、新村君、松岡君、田中君、福嶋君、奥村君)です。学生チームは長さ4mの鉄製の橋梁模型を設計して持ち寄り、進入禁止エリアあり、や運搬などのルールに従って制限時間(40分)内に組立て(架設部門)、構造デザイン(美観部門)と200kgの移動荷重を載荷させた時の耐荷性能(構造部門)を競う大会です。参加チームは、京都大学、名古屋大学、九州大学など全国の大学生・大学院生20チームで、高専からの出場は本校だけです。ほとんどの学校が鋼構造や橋梁を研究している研究室中心のチーム編成であるのに対し、本校では授業の一環として取り組んでいるため、土木コースの学生全員がデザイン検討から鋼材の切断や溶接など加工に関わり、チームワークを発揮して取り組みました。何よりも、技術教育支援センタースタッフの協力の下で、溶接やマシンを使った機械加工など初めての實習となったため、暑い中でも楽しんで安全に作業を行いました。

さてJSBC2018大会本番です。前述のように3つの部門で競い合い、1部門でも失格になると表彰対象外になるという厳しいルールの下で実施されます。熊本高専チームは「かなめ橋(名前の由来はご想像にお任せします)」という中路トラス形式の橋梁を設計しました。架設時間はギリギリでしたが、架設部門は第3位という結果で、参加学生と教員による投票とプレゼン審査で競う美観部門では第1位となりました。構造部門では200kgの錘を移動させた時の最大たわみ値が10mm以内で、かつ10mmに近づけばよいという目標たわみが設定された中で、6.72mmという記録で第1位となり、3部門の成績から総合優勝を勝ち取りました。今大会では失格になるチームが続出した波乱な大会となりましたが、全ての部門で好記録を残したことが勝因となりました。

この大会を通じて熊本高専という学校と学生のポテンシャルの高さ、教職員間のチームワークをアピールすることが出来、何よりも関わった学生全員の自信に繋がったと考えています。今年度も新たな5年生が設計に入っています。皆様のご支援を今後ともよろしく願っています。



「かなめ橋」と代表6名



架設競技の最中(完成直前)



載荷競技(これから200kgの錘を手前に移動)



表彰式

同窓生だより

Dousousei-Dayori

近況報告

M28 大塚 祐一郎

皆様いかがお過ごしでしょうか。本科を卒業して13年、専攻科を修了してから11年となりました。

今回寄稿依頼をいただき、改めてこれまでのことを考えるとつい先日のことの様で、本当に時が経つのは早いものだと実感しています。

まず、私は2006年に本科を卒業し、2008年に専攻科を修了しました。部活は少林寺拳法部と音楽研究部に在籍していました。修了後は熊本県の平田機工株式会社に就職しました。

平田機工の主な業務内容は自動車、半導体、家電などのさまざまな分野の製造メーカーに生産設備とエンジニアリングを提供しているシステムインテグレーターです。私の部署では、ロボットの開発・販売とロボットを使用した生産設備の製造を行っています。

私は、入社後調達部門を経て、現在では機械設計を担当しています。設計を担当したものは、液晶基板の搬送ロボットや、加工機メーカーの自動化設備、樹脂製品の加工装置など様々な業種にわたります。現在は自動車部品の加工、洗浄・刻印ラインを担当しています。

業務を通して、経験や知識は増えてきましたが、お客様の要望に対して、高専で得た様々な知識が役に立っています。特に専攻科では学科を超えて学べたことはとても良かったと思います。

会社内の同窓生はというと、入社時には少なくほとんど八代高専の卒業生はいませんが、最近では少しずつ増えてきました。

同じ部署には横山さん(M35?)や鈴木さん(M35?)もいて、学校のことや先生方のことで話が盛り上がります。

(例えば、古嶋先生のヘッドロックは年代変わらず痛かったとか。) これからも増えると良いなと思います。

プライベートでは、高専時代から付合っていた彼女(E30)と2014年に結婚し、今では長女と長男を授かりました。長女はもうすぐ3歳、長男はもうすぐ1歳です。子供達の成長が嬉しく、とてもかわいくて仕方ありません。

そして、高専の時に始めたドラムが今でもナンバーワンの趣味です。日々のストレス発散にもなっています。

こちらは最近、音研OBの海付さん(E28)と吉田さん(E30)とバンド結成し、ライブに向けて練習しています。

卒業後もこうして集まれることに喜びを感じています。なんとと言っても楽しいです。

エンジニアとしても父親としてもまだまだ未熟ですので、これからも様々なことに挑戦し、成長していきたいとおも

います。成長した姿(体重ではなく)で同窓会に参加できればと思います。

最後になりましたが、同窓生の皆様と先生方のご健康とますますのご活躍をお祈り申し上げます。



元気がいちばん

M29 坂川 雄一

学生の頃、この会報で諸先輩方の活躍ぶりを読み、自分も社会で活躍できるだろうかという不安を感じながらも、功績をアピールしてやろう、と目論んでいたことを思い出しました。が、残念ながら、何かを成し遂げたわけでもないうちに依頼がきてしまいましたので、高専時代のお世話になったみなさんに元気でやっていることが伝われば、という想いで書かせていただきます。

まず簡単に自己紹介をします。2007年に高専を卒業した後、進学を経て、2011年にマツダ(株)に入社しました。主に現行デミオのボデーシェル(クルマの骨格)の設計を担当しました。その後、2015年に山口県にある防府工場に赴任し、ボデーシェルを造る加工区で設備導入担当として業務に励んでいます。現在32才、妻(28才)と、ダンスが大好きな息子(2才)と、おにぎりのような娘(0才)の4人家族です。

高専生活を振り返って



みると、そのほとんどを部活（水泳部）に捧げた気がします。入部当初は怖い先輩の指示で真っ暗の中泳がされ、壁に頭を激突させたことも今となってはいい思い出です。3年からキャプテンとしてチームを率い、メンバーにも恵まれ、5年時に九州高専大会で総合優勝、コーチとして参加した2009年には全国高専大会で総合3位に入るまでに成長しました。個人成績としてはチームにあまり貢献できませんでした。みんなが部活を好きになってくれるような雰囲気づくりに多少なりとも貢献できたと思っています。社会人になり、コミュニケーション能力の重要性を再認識しましたが、これは部活に一生懸命取り組み、仲間と笑いあったり、苦しんだり、それを乗り越えて喜びを分かち合ったりした結果の賜物だと思います。昨年末、後輩の呼びかけで初めてちゃんとしたOB会を開催しました。それぞれの道で活躍していることに大きな刺激をもらいました。また、元気でやっていることが分かってとても嬉しかったです。このような仲間に出会えたことはとても運がよかったと感じています。（水泳部だけでなくM科のみんな、先輩／後輩も含めて）

仕事の話をして。現在、製造領域で仕事をしていますが大事にしていることがあります。それは「設計に自由度を持たせる」ということです。基本的には「これを守ってもらわないと製造できない」ということを生産要件として設計にフィードバックし、それを守って設計するのですが、時にこの要件が設計の自由度を奪い、やりたいことができなくなることがあります。こうなると理想の設計ができず、お客様の期待を超えるクルマを世に送り出すことができません。製造よがりの要件をなくし、「難しくても製造できるようにしちゃるけん、妥協のない最高の設計をしんさい！」と言えるような製造部とすることで、魅力あるクルマづくりに貢献したいと意気込んでいます。

私が卒業して12年。M科の先生方の高齢化を心配しています。もし運転に不安を感じられるようであれば、優れた安全性能をもつマツダ車を紹介させていただきますのでご連絡ください。その際は一番利益率の高いクルマを準備させていただきます。

同窓会支部より

デジタル変革時代に思う

楷友会関東支部長 E1 福山 修一

昨年の高専ロボコン全国大会、母校のロボット「Barista」の戦いぶりは圧巻だった。残念ながら家の引っ越し日と重なり、両国国技館での応援はできなかったが、テレビで試合ぶりを見て非常に感動したと同時にこの大会に出場している後輩達を非常に誇らしく思った。3メートルはあろうかという2段テーブルのトップの小さな円台に全ペットボトルを一瞬で載せた様子は、「おみごと！」の一言に尽き、今でも深く印象に残っている。残念ながら、準決勝から導入された「Vゴール」にさえぎられ、準決勝敗退となったが、優れたロボットに贈られる最高の栄誉「ロボコン大賞」に選出されことは、技術力や完成度の高さが評価されたのだと思う。心より「おめでとう」を伝えたい。

ロボコンに触発されたわけではないのかもしれないが、最近高専向けの新たなコンテストが開催されていることを知った。全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト（D-CON）である。高専生の「ものづくりの技術」と「人工知能（AI）の発展を支えるディープラーニング技術」を活用した作品で「事業性」を競うコンテストである。審査員はベンチャーキャピタリスト（VC）で、技

術面を大学の先生が評価するというものである。4月下旬に本選のプレゼンがあり、長岡高専プレラボチームの「METERAI」が優勝した。驚くことにVCの評価は、企業価値評価4億円、4000万円投資ということで、すぐビジネスになりそうとの判断である。ここで私の興味を引いたのは、単なる技術の追求でなく、「事業性」を競っているところである。そしてその難題を見事にクリアして、高評価を得たチームがあったということである。

タイトルにあげた「デジタル変革（デジタルトランスフォーメーション）」であるが、経産省のガイドラインでは「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」と解説されている。ロボコンやD-CONで躍動した人達を含め高専生は、日本におけるデジタル変革の推進に一翼を担うことを期待されていると感じる。ただデジタル変革時代では、技術面だけでなく、社会や企業の様々な課題を見つけ出し、どのような運用プ

ロセスで解決するかなどイノベーション的な発想も必要である。そのためには、いろいろな業界の人と知り合いその知見を知ることが非常に大事である。

同窓会の場というのは、業界を超えて様々な人と知り合える場でもあるので、この場を是非生かしてもらえればと思う。今年の楷友会関東支部同窓会だが、東京で開催されるロボコン全国大会(11月24日開催)への母校出場を祈念して、その開催日の前日11月23日(土)に決めた。詳細の案内は、9月頃、同窓会HP、Facebookに掲載するので、関東圏の方はもとより、全国から集まっていたければと思う。



関東楷友会のゴルフコンペにて(前列中央が筆者)

第3回関西楷友会 開催致しました！

C18 本田 英樹

立夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

本年より関西楷友会にて広報局長を拝命いたしました、18C本田でございます。

「お前誰やねん？」というツッコミはさておき、先日行われました第3回関西楷友会の報告を…

開催に先立つ1月16日、予定会場の下見を兼ねて幹事会を開くとのことで、役なしの私にお声掛けいただき参加することに。

村田相談役のお知合いの、オサレなお店で近況やら雑談を交えること数分(だったはず)。

会計岩田さんから、本日の本田に対する本題(お題やなくてよかった…)同期の線を生かして、参加者を増やしたい&広報やって!と…お断りする理由は全くないので、お引き受けすることにいたしました。(選任理由は長くなるので割愛!)

さて、迎えた当日(2月23日)、およそ20名にて無事開催。

前半の総会にて、正式に広報局長という大役を仰せつかり。グダグダな挨拶もそこそこに懇親会へ。

本部の亀田会長・磯谷副会長をはじめ、関東楷友会からもご参加いただき、また新卒の2名も加え歓談が進みました。

お店のご厚意にて晩白柚の飾り切りを準備していただき、地元の味覚を堪能。

毎度恒例の熊本みやげ大抽選会も行われ、大いに盛り上がりました。そして2次会。同じビルの上の階でカラオケ大会開催。それぞれの持ち歌を披露し、歓談と酒と相まって盛り上がりを見せました。この時、同期Fがスナック経営者かと思

違ふ事態も発生(笑)。結局は3次会迄行われましたがそこは割愛(笑)と、こんな感じで毎年1回は開催しております。次回開催は未定ですが、「その日はたまたま関西おるで!」とか、住んでいらっしゃるエリアに関係なく、ご参加いただくと幸いです。関西楷友会HPも開設しておりますので、ぜひ一度ご覧になってください。



関西楷友会集合写真(筆者後列右端)

教職員だより

Kyosyokuin-Dayori

高専思い出酒

久保田 智 (昭和54年4月C科着任～平成31年3月LY科退任)

同窓生の皆様、ご健勝でご活躍のことと思います。1期生と入替りに八代高専C科教員となり30年、再編後は熊本高専LY科教員として10年、この間に多くの同窓生の皆さんや校長先生をはじめ教職員の方々と出会うことができました。

前期高齢者となった私を覚えてくれていますか？私は覚えていますよ！葉〇さん、櫛△さん、小□□さん、…卒研三人娘…、横△さん。あれ～女性が多かったようですが、ちゃんと覚えていますよ、やっどんがキャンパスライフを！

清田校長の講話を静かに1時間、井上校長の尺八と厚生会館でコラボ演奏、仏の十一ちゃんにお目こぼししてもらい、治ぶやんに関西弁で励まされたり…。お亡くなりになった愛情豊かな先生方に哀悼の意を表しましょう。

全寮制の1日は起床です起床です、眠い顔してトラック半周ラジオ体操、美味しいみそ汁飲んで、おはようすおはよ～すと登校、三ちゃんの授業は眠らない鉄則で、森&岩先生や私の授業で顔に付いたよだれを拭き、さぁ金剛橋まで往復、野球場グラウンド体育館コート道場プール人工芝が楽しくて、夕食しながら宿直ハンター確認、完全自習時間はちゃんと…、消灯です消灯です、から静かに…！嬉しかったこと悲しかったこと楽しかったこと苦しかったこと、仲間と過ごしたキャンパスにはいろいろな思い出が一杯詰まっていますね！

5年間を過ごした皆さんの8倍、先日電話をくれたN君の5倍も過ごす私にもいろいろな思い出があります！

○あざん測量やこぎん土質を30年間、作業服の似合う数学を10年間やりました。

○トランシット測量すると晩白柚を蹴るし、レベル測量すると蜜柑投げするし、それだまにはソフトボールでしたね。

☆まずハンドボールコートの草取りと小石拾いから始めましたね。中学生といい勝負だったチームが、10年後には全国大会優勝！胴上げは嬉しかったよ、ありがとう！

☆バドミントン愛好会の頃に「若っとランド」に出演しましたね。体育館の練習は4年目からだけど、全国大会では女子ダブルス優勝を皮切りに、男子団体3連覇は見事でした。男女チーム仲良しで、マネージャも応援も抜群でした！

☆教員室のゴミを掻き分けながら女子バスケ部が二三度来て新人顧問。女子の初勝利に感激し、西日本男子で優勝してホテルバイキング。コーチ、マネージャも一緒に楽しかった！

☆カップ渡来のやっちょろCAPPA団。NHKや新聞社の取材を受け、ナザレ園で兄貴お姉ちゃんと呼ばれ、工作・実験ひろばや日食メガネPを頑張る君たちが眩しすぎました！

□校長宿舎から通学した覚えがあるのは誰だろ～！

◇修学旅行で大阪万博 '70、親父が行った沖縄海洋博 '75、C9と一緒につくば科学万博 '85、家族と愛地球博 '05、よ～し大阪万博 '25で完全制覇！C9は2～8年生までがずらり揃った豪華版で、人間味豊かなクラスでした！

◇C16のU君結婚式の招待席に「時々怖かった、後輩には優しくね」メッセージ。でもS先生も手こずるほどの顔ぶれ見てよ、色々あって思い出し笑い！C16は専攻科1期。

◇C20前後は素直と学ラン組としっかり屋女子。謹慎訪問で人吉組員、天草組員、熊本組員、大津組員を1日で廻るの大変でした。芦北組員は1カ月以上訪問したかな！

◇C27は測田先生の申し子揃いだから、就職超氷河期を乗り越えれたね。ウラバスいいね！クライマックス講評会の審査員もありがとう！N君のご冥福を一緒に祈ります。

◎熊本高専10期生は卒業同期！かわいい同期生だから、先輩諸君、令和の世渡りをしっかりと導いてやって下さい。C系に偏り過ぎはお許しあれ！M系E系B系一般科の先生方にも皆さんとの思い出が一杯詰まっています。

家族や孫達に笑顔をもらい、恩師や仲間との思い出メインディッシュに、高専同窓生から美味しい思い出酒を溢れるほ



どいただいて、高専教員生活40年間は最高でした！皆さんも家族や同窓生、恩師との思い出を一生大切にしてください！

撮っておきは、還暦に子供達と登った富士山頂のどこまでも蒼い天空の下より！

P.S. 散らかし放題の教員室にはまだまだ溢れる思い出酒を仕舞っていました。そろそろお酒は棚卸して、白寿を超えそうな母と共に、夫婦一緒に家族や孫達との思い出メインディッシュ創りを堪能していきます！ Good luck to you!

初めての教員生活

松谷 祐希 (元機械知能システム工学科)

2015年4月から2019年3月までの4年間、熊本高等専門学校八代キャンパスで勤務できましたことを教職員の皆様には厚く御礼申し上げます。

私が熊本高等専門学校の機械知能システム工学科に助教として着任したのは、2015年4月のことでした。思い返しますと、PBL委員、寮務主事補、総務委員、地域イノベーションセンター委員やバスケットボール部、ロボコン部、陸上部の顧問や海外研修の引率と、多くの校務を務めさせていただきました。高専勤務や教員の経験が無かったにもかかわらず、これらの業務を無事に行うことができ、学生をサポートすることができましたのは、ご一緒に業務をさせていただいた皆様に、温かく親切にご指導いただいたおかげです。おかげさまで、校務を通して学生とも一緒に楽しい時間を過ごすことができました。誠にありがとうございました。

授業では、特に実習に関しましては、技術教育支援センターの職員の皆様にとっても親切にいただき、多くのことを学ぶことができました。その中で、一緒に協力させていただき、一つの成果を上げることができたことは、私にとって貴重な経験であり、今後の研究者生活の糧といたします。

また、機械知能システム工学科だけでなく他学科の先生方にも、食事やランニング、レクレーションなどにたくさんお誘いいただき、様々な教職員の方と親睦を深めることができましたのも、とても良き思い出です。改めまして皆様には感謝申し上げます。

熊本高専を異動しまして約3ヶ月が経ちました。異動直後は、新しい環境に慣れることに精一杯でした。しかし、何事もなく過ごすことができたのは、熊本高専での4年間の経験のおかげだと考えております。これからも熊本高専で経験したことを忘れずに、教員として邁進していきたいと考えております。

熊本高等専門学校八代キャンパスは、今春、新入生を迎えられ、また今秋には、改修している実習・実験棟の工事が完了予定であり、キャンパス内は活気に満ち溢れていることでしょう。これからも熊本高等専門学校八代キャンパスがいつそう発展されることを祈念いたします。

熊本高専で学んだ卒業生が社会で活躍されており、今後も社会に対して重要な役割を果たすことでしょう。最後になりますが、熊本高専の卒業生の皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。



令和元年度 新クラス幹事紹介



MI科 幹事 第5期 古川 洸輔

同窓会のみなさんはじめまして。この度機械知能システム工学科第5期クラス幹事になりました古川洸輔です。私は、この春よりサントリービール九州熊本工場に入社しました。現在は工場でOJTを行っており、実際の生産の場で頑張っており勤務しております。社会人となって日が浅く、まだまだ不慣れなことばかりで四苦八苦していますがとても充実しています。高専を卒業して多くの仲間たちが、就職・進学でそれぞれの新しい道へ歩み始めました。高専5年間の苦楽を共に過ごした仲間たちとのつながりの大切さを改めて感じております。これからもこのつながりを断つことなく、同窓会など様々な機会を通して交流を深めていければと考えております。そのためにも私自身精一杯頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。



AC科 幹事 第5期 弘松 昂大

同窓会の皆様初めまして。この度、建築社会デザイン工学科第5期のクラス幹事となりました、弘松昂大です。皆様、いかがお過ごしでしょうか。私は、専攻科に入学し、勉強や研究に励んでいるところです。本科卒業後はクラスのほとんどが熊本高専を出て、就職や進学をされました。学校生活や寮生活をともにした友人たちも減ってしまい、寂しさを感じる時があります。同窓会が、私たちが互いにとっていかに大切な存在であったかを再認識するとともに、私たちがそれぞれの道を進むための活力になればいいなと思っています。初めてのクラス幹事で至らないところもあると思いますが、私なりに精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。



BC科 幹事 第5期 久保田 ゆりか

こんにちは。今年から楷友会の新幹事になりました、生物化学システム工学科出身の久保田ゆりかです。私は専攻科に進学しました。仲間が一気に減ってしまって、少し寂しく思います。勉強や研究などいろいろ大変ですが、楽しい日々を過ごしています。よろしくお願いいたします。先日は私たちのために新幹事歓迎会を催していただき、誠にありがとうございました。お料理もとても美味しくて、つい、食べ過ぎてしまいました。本科クラスでの最初の同窓会は、来年の1月2日に行いたいと考えています。その次の日に高専の大同窓会があるそうですが、かぶらなくて良かったと思っています。その後は、私たちの節目の年、30歳、40歳、50歳...という感じで同窓会を開こうと考えています。これからよろしくお願いいたします！

Gakuseikai

学生会だより

Dayori



熊本高専八代キャンパス
学生会会長

4年 中村 絢夏

楷友会の皆さま、2019年度熊本高専八代キャンパス学生会会長を務めさせていただきます、建築社会デザイン工学科4年中村絢夏です。

私は、自分の力でなにかにチャレンジし、人のために何かできることはないかと思い、今年度の学生会会長選挙に立候補しました。当選した際は、不安もありましたが、今はとにかくやるしかないと思い、全37名の役員と共に、活動を頑張っております。

昨年度のオープンキャンパスの際、楷友会の皆さまからの補助をいただき、無事に開催することができました。ご協力、誠にありがとうございました。今年度も授業見学会やオープンキャンパスを実施いたしますので、ご支援頂けますと幸いです。

また、今年度は、新しい取り組みをいくつか予定しています。球技大会を体育祭っぽくしてみたり、高専祭に関してはもっと多くの学生と盛り上がる企画を実施予定です。

今後も学生会役員一同、学生の学校生活がより良いものとなるよう、頑張っております。楷友会の皆さまにもご協力頂けますと幸いです。



「Japan Steel Bridge Competition 2018」への母校後援支援費の御礼

熊本高専チームリーダー 猪原慶士郎 (5AC)

熊本高専チームのチームリーダーを務めた猪原慶士郎です。頂いた後援支援費は、参加した6名の交通費に充てさせて頂きました。この度のご支援、感謝申し上げます。

「Japan Steel Bridge Competition 2018」では総合優勝を勝ち取ることが出来ました。デザインの検討では、授業では使ったことのない「3DCAD」や、実習工場での「金属加工」や「溶接」など、様々な経験をさせて頂きました。また大会本番では、構造計算をして、「より軽く」、「より強い橋」を目指したチームばかりで参加大学のレベルに驚かされました。橋梁の構造や設計についての知識があまりない状況での大会参加だったので、今思うと、もっと検討を重

ねてもう一度参加したいと今でも強く思っています。

私は4月から「三井E&S鉄構エンジニアリング」という橋梁メーカーに就職しました。橋梁業界では金属加工や溶接はもちろんのこと、3DCADを用いて架設の様子を画面上に表示して検討するようなことが普通に行われており、JSBC2018に参加した経験が活かされています。現在は工事に配属されたため、模型ではなく、今度は実際の橋梁を建設する現場で努力しています。後輩達がブリコンで活躍してくれることを期待しています。

私はこのJSBC2018の経験を活かして仕事も頑張りますし、同窓会がもっと盛り上がるように貢献したいと思っています。これからもどうぞよろしくお願い致します。

SLOPERプロジェクトへの母校後援費支援の御礼

チームSLOPER代表 カン イブラヒマ (5MI)

チームSLOPERのカン イブラヒマです。この度は私たちのプロジェクトにご支援を頂きありがとうございます。

私たちSLOPERは、2018年3月に高専機構と日本ナショナルインスツルメント社が開催した「高専生向けNI myRIO組込システム開発コンテスト2018」に参加するために結成した機械知能システム工学科のクラスメートのプロジェクトチームです。私のほかに、同じ留学生のシリーシ バブ、ロボコン部の森本堅太と湯野友貴、情報システム研究部の本山和輝の5人で活動しています。

コンテストでは、ナショナルインスツルメント社のマイコンmyRIOを活用してシステムを作らなければなりません。私たちは近年話題となっている自動運転技術を何かに実装したいと考えていました。その中で担任の山下先生の研究室に置いてあったSTAViという屋内向け電動車いすに目をつけ、様々なセンサを組み込んでmyRIOで制御することで、操作の難しいスロープの昇降ができないかと考えました。ブラックボックスだったモータ回路を制御するためにコントローラからの信号を解析するなどの苦労はありましたが、解析結果をもとにmyRIOから信号を擬似生成することで制御が可能になりました。また、自由に制御できるようになったことで、自作アプリケーションと自己位置推定による屋内での目的地までの自動運転機能やKinectカメラでの画像の撮影と解析を使った障害物の自動回避も可能にできました。さらにコンテストでの発表に向けてのプレゼン資料や動画編集なども含めて、プロジェクトでは、チーム全員がそれぞれの得意な分野の力を

十分に発揮することで、当初の目的以上のものを完成することができました。コンテストでは優秀賞を頂き、続く世界大会「NI Student Design Showcase 2018」への応募も推薦してもらいました。資料の英語化の手間はありましたが、結果的には世界中のトップレベルの大学も含めて50以上のプロジェクトが参加している中でトップ10に入ることができました。自分達のプロジェクトを世界中のエンジニアが認めてくれたことが非常にうれしかったです。

私たち5人はこの春に熊本高専を卒業し、3人は大学進学、2人は就職と新しい夢に向かって進みます。私は自動運転やIoT、AIなどの知識と技術を更に深めるために名古屋大学に編入学します。将来は自分の国セネガルの農工業の発展や世界中の人々の生活を便利にすることに貢献できるようになりたいと思っています。また、日本とセネガルの架け橋にもなりたいと思います。今回頂いた後援費は夢をかなえるための教材の購入などに使わせていただきます。

これからも応援どうぞよろしくお願い致します。



2019年度 同窓会及び学校行事

7月 6月29～30日	会報誌発刊 九州沖縄地区高専体育大会 ●柔道	8月17～18日 8月20～25日	全国高専体育大会(陸上) 全国高専体育大会 (硬式野球、サッカー、テニス、バスケットボール、卓球、柔道、剣道、ハンドボール、水泳)
7月12～14日	九州沖縄地区高専体育大会 ●ソフトテニス ●ハンドボール ●バスケットボール(男子・女子) ●卓球 ●サッカー ●バレーボール(男子・女子) ●テニス ●陸上	8月31～9月1日	全国高専体育大会 (バレーボール、ソフトテニス、バドミントン)
7月19～21日	九州沖縄地区高専体育大会 ●バドミントン ●野球 ●剣道 ●水泳	10月13～14日	全国プログラミングコンテスト (都城市総合文化ホール)
7月27日	八代くま川祭り	10月13日	ロボコン九州沖縄地区大会 (別府市総合体育館べっぷアリーナメインアリーナ)
		11月1～4日	高専祭
		11月9～12日	ラグビー九州沖縄地区高専体育大会(鹿児島)
		11月24日	ロボコン2019全国大会(国技館)
		12月7～8日	全国高等専門学校デザインコンペティション (東京都大田区)
		令和2年 1月4、5、7、9日	ラグビー全国高専体育大会(神戸市)
		3月23日	卒業式 修了式

2019年度 高専大会等会場案内

【九州地区高専大会】

クラブ名	期日	会場	
陸上競技	7/13,14	鹿児島県立鴨池陸上競技場、鴨池補助競技場	鹿児島市
ソフトテニス	7/13,14	日置市吹上浜公園テニスコート・多目的体育広場(亀ドーム)	鹿児島県日置市
バドミントン	7/19～21	牧園アリーナ	鹿児島県霧島市
水泳	7/19	鴨池公園水泳プール	鹿児島市
ハンドボール	7/13,14	吉田文化体育センター	鹿児島市
硬式野球	7/19～21	県営八代運動公園野球場	熊本県八代市
		川上哲治記念球場	熊本県人吉市
バスケットボール(男・女)	7/12～14	熊本県立総合体育館	熊本市
卓球	7/13,14	八代市東陽スポーツセンター	熊本県八代市
剣道	7/20,21	八代市東陽スポーツセンター	熊本県八代市
サッカー	7/12～14	高城運動公園多目的広場	宮崎県都城市
柔道	6/29,30	早水公園体育文化センター武道場	宮崎県都城市
バレーボール(男・女)	7/13,14	都城運動公園体育館・都城高専体育館	宮崎県都城市
テニス	7/12,13	熊本県民総合運動公園パークドーム熊本	熊本市
ラグビーフットボール	11/9,10,12	鹿児島県立サッカー・ラグビー場、鴨池公園緑地球技場	鹿児島市

【全国高専大会】

クラブ名	期日	会場	
陸上競技	8/17,18	エディオンスタジアム広島	広島市安佐南区
ソフトテニス	8/31,9/1	(晴天時) 岩国市運動公園テニスコート	山口県岩国市
		(雨天時) 岩国市総合体育館(案)	
バドミントン	8/31,9/1	キラビバレッジ周南総合スポーツセンター	山口県周南市
水泳	8/24,25	ひろしんビッグウェーブ(広島市総合屋内プール)	広島市東区
ハンドボール	8/24,25	キラビバレッジ周南総合スポーツセンター	山口県周南市
硬式野球	8/20～22	倉敷マスカットスタジアム	岡山県倉敷市
バスケットボール(男・女)	8/24,25	松江市総合体育館	鳥根県松江市
卓球	8/24,25	県立米子産業体育館	鳥取県米子市
剣道	8/24,25	光市総合体育館	山口県光市
サッカー	8/21,22,24,25	A会場: 呉市総合スポーツセンター陸上競技場	広島県呉市
		B会場: 呉市総合スポーツセンター多目的グラウンド	
		C会場: 広島文化学園大学郷原キャンパス サッカー競技場	
柔道	8/24,25	鳥取県立武道館	鳥取県米子市
バレーボール(男・女)	8/31,9/1	呉市総合体育館	広島県呉市
テニス	8/21～23	宇部マテ“フレッセラ”テニスコート	山口県宇部市
ラグビーフットボール	2020 1/4,5,7,9	神戸市総合運動公園ユニバー記念競技場	神戸市須磨区

【高専英語プレゼンテーション大会】

全国大会	2020年 1/25,26	国立オリンピック記念青少年総合センター	東京都渋谷区
------	------------------	---------------------	--------

【ロボットコンテスト】

九州地区大会	10/13	別府市総合体育館べっぷアリーナメインアリーナ	大分県別府市
全国大会	11/24	国技館	東京都墨田区

【プログラミングコンテスト】

予選	6/22	東京都立産業技術高専品川キャンパス	東京都品川区
本選	10/13,14	都城市総合文化ホール	宮崎県都城市

【デザインコンペティション】

本選	12/7,8	大田区産業プラザPiO	東京都大田区
----	--------	-------------	--------

平成30年度高専大会成績一覧表

九州・西日本地区大会

【第55回九州沖縄地区国立高等専門学校体育大会】

■陸上

男子総合	3位	
男子100m	4位	田端 本気 (3AC)
男子400m	準優勝	緒方 侑亮 (5BC)
男子800m	3位	中村 遊椰 (4AC)
男子1500m	3位	中村 遊椰 (4AC)
男子3000mSC	準優勝	森下 尚仁 (2MI)
男子4×100mR	4位	本田 大理 (5MI)
	3位	緒方 裕史 (3MI)
		山口 直希 (3MI)
		田端 本気 (3AC)
男子4×400mR	4位	緒方 侑亮 (5BC)
		中村 遊椰 (3AC)
		山口 裕史 (3MI)
		山口 直希 (3MI)
男子走高跳	4位	山口 光流 (5BC)
男子棒高跳	優勝	福村 裕史 (3MI)
男子走幅跳	優勝	宮口 裕史 (3MI)
男子三段跳	優勝	宮口 裕史 (3MI)
円盤投	4位	福村 光流 (5BC)
男子やり投	準優勝	田端 本気 (3AC)
女子総合	3位	
女子100m	3位	宮本 彩香 (1BC)
女子800m	準優勝	永目さくら (3BC)
女子3000m	準優勝	永目さくら (3BC)
女子4×100mR	4位	本山明香里 (4BC)
	3位	本山明香里 (4BC)
		永田 真唯 (3BC)
		山元 彩加 (2AC)
		宮本 彩香 (1BC)
女子走幅跳	準優勝	永田 真唯 (3BC)
女子やり投	3位	宮本 彩香 (1BC)

■卓球

男子団体	3位	井上 侑 (4AC)
		寺本 一輝 (4MI)
		田中健太郎 (3MI)
		田頭幸之介 (3BC)
		柚木 勝裕 (1MI)
		池永 周造 (3AC)
		吉田 育海 (1MI)
		堀川 祐希 (1BC)
男子シングルス	3位	田中健太郎 (3MI)
女子ダブルス	準優勝	森崎 礼瀬 (5BC)
		後藤 千明 (4BC)

■水泳

男子100m背泳ぎ	優勝	吉岡 将哉 (3MI)
男子200m自由形	準優勝	吉岡 将哉 (3MI)
男子4x100mメドレーリレー	3位	佐藤京太郎 (5AC)
		原田 蓮士 (4BC)
		村崎 紀彦 (4BC)
		吉岡 将哉 (3MI)
女子100m自由形	優勝	久保田ゆりか (5BC)
女子200m個人メドレー	優勝	久保田ゆりか (5BC)
女子50m自由形	準優勝	志水 千尋 (4BC)
女子100m背泳ぎ	準優勝	志水 千尋 (4BC)

■バドミントン

男子団体	準優勝	清水 亮太 (5BC)
		森田 大貴 (5AC)
		桑原 秀明 (4MI)
		山本 一樹 (4MI)
		高田 真仁 (3BC)
		井村 文哉 (2BC)
		新山 涼太 (2BC)
		前田 幸輝 (2BC)
男子シングルス	3位	桑原 秀明 (4MI)
女子団体	準優勝	横山 瑞海 (5AC)
		小柳 七海 (4AC)
		田邊 一香 (4AC)
		森本 暁音 (4BC)
		伊藤七奈星 (3AC)
		竹隈 光紀 (2AC)
		沖田 梓帆 (1AC)
		中島 朝陽 (1BC)
女子シングルス	優勝	森本 暁音 (4BC)
	準優勝	伊藤七奈星 (3AC)

女子ダブルス	優勝	森本 暁音 (4BC)
		伊藤七奈星 (3AC)

■バレーボール男子

3位	奥村 岳史 (5AC)
	山本 航平 (1MI)
	尾方 亮 (4MI)
	白木 椋大 (4BC)
	中野 章 (3BC)
	松原 爽太 (1MI)
	高木 浩太 (2AC)
	久保 祐太 (4BC)
	平野 裕喜 (2MI)
	光田 賢生 (4MI)

■バレーボール女子

3位	米村 祥世 (5BC)
	井山 幸音 (4BC)
	鹿島 史帆 (3BC)
	河本 青空 (3BC)
	石坂 真椋 (2MI)
	森田 寛寛 (2AC)
	山本南菜美 (2BC)
	亀井 優希 (1BC)
	錦戸 和香 (1BC)
	廣松 愛理 (1BC)

■柔道

男子団体	優勝	菅原 恭一 (5AC)
		嶋本 樹蓮 (4BC)
		山本 聖也 (4MI)
		松岡 歩 (3MI)
		富崎 惟斗 (2AC)
男子個人戦73kg級	優勝	菅原 恭一 (5AC)
男子個人戦90kg級	準優勝	富崎 惟斗 (2AC)
男子個人戦90kg超級	3位	松岡 歩 (3MI)

■ハンドボール男子

準優勝	山下 倫弘 (3AC)
	本田 武蔵 (1MI)
	富田 穂高 (2MI)
	佐々木玲央 (2AC)
	高尾 勇琉 (2AC)
	田中 史大 (2AC)
	長濱 悠都 (2AC)
	大鶴 涼 (3MI)
	杉田 昂介 (3MI)
	山下 修弘 (3MI)
	藤原 大和 (5AC)
	上村 遥 (5AC)
	盛高 龍一 (5AC)
	平田 郁人 (1BC)
	下鶴 尚輝 (2AC)

■硬式テニス

男子団体	3位	金子 俊介 (5MI)
		河北 良彦 (5MI)
		氏原 将貴 (5MI)
		松平 泰知 (3AC)
		尾方信之介 (4MI)
		南 仁貴 (4BC)
		福嶋 治樹 (5AC)
		木永 真聖 (5AC)
女子団体	3位	山川 実里 (3BC)
		野間口芽生 (4MI)
		山下 あみ (3AC)

■バスケットボール女子

準優勝	吉塚聖如由 (4AC)
	池上 歩夢 (4BC)
	俵 花梨 (4AC)
	塩谷 彩乃 (4BC)
	大塚 初音 (4AC)
	加藤 千晴 (3BC)
	松下 菜花 (3AC)
	佐藤さくら (2BC)
	田端 萌 (1BC)
	松崎 愛 (1AC)
	中川 まり (1BC)

■弓道

女子団体の部	準優勝	瀬崎 華芳 (3BC)
		諫山 華奈 (3MI)
		田中 彩世 (4AC)
女子個人の部	準優勝	瀬崎 華芳 (3BC)

■少林寺拳法

単独演武 段外者の部	優勝	植原 優貴 (3MI)
------------	----	-------------

■高専ロボコン2018九州沖縄地区大会

Barista (バリスタ)		
Aチーム	技術賞	湯野 友貴 (5MI)
	特別賞	南條 充宏 (3MI)
		加世田佳朋 (2MI)

■全国大会

【第53回全国国立高等専門学校体育大会】

■陸上

男子棒高跳	5位	福村 光流 (5BC)
男子走幅跳	4位	宮口 裕史 (3MI)
男子三段跳	5位	宮口 裕史 (3MI)
女子800m	優勝	永目さくら (3BC)
女子3000m	準優勝	永目さくら (3BC)
女子100mH	7位	宮本 彩香 (1BC)
女子4×100mR	7位	本山明香里 (4BC)
		永田 真唯 (3BC)
		山元 彩加 (2AC)
		宮本 彩香 (1BC)
女子やり投	3位	宮本 彩香 (1BC)

■柔道

男子個人戦73kg級	3位	菅原 恭一 (5AC)
------------	----	-------------

■バドミントン

女子団体	準優勝	横山 瑞海 (5AC)
		小柳 七海 (4AC)
		田邊 一香 (4AC)
		森本 暁音 (4BC)
		伊藤七奈星 (3AC)
		竹隈 光紀 (2AC)
		沖田 梓帆 (1AC)
		中島 朝陽 (1BC)
女子シングルス	優勝	森本 暁音 (4BC)
	準優勝	伊藤七奈星 (3AC)
女子ダブルス	準優勝	森本 暁音 (4BC)
		伊藤七奈星 (3AC)

■水泳

男子100m背泳ぎ	5位	吉岡 将哉 (3MI)
男子200m自由形	優勝	吉岡 将哉 (3MI)
女子100m自由形	6位	久保田ゆりか (5BC)
女子200m個人メドレー	4位	久保田ゆりか (5BC)

■高専ロボコン2018全国大会

Barista (バリスタ)		
Aチーム	ロボコン大賞	湯野 友貴 (5MI)
	バズコン大賞	南條 充宏 (3MI)
	ロボコンスト大賞	加世田佳朋 (2MI)

■第15回全国高等専門学校デザインコンペ

ティション (デザコン2018 in 北海道)		
空間デザイン部門		
これからの宮地んこどもの百貨店		
審査員特別賞	江里口はるか (5AC)	
	辻本 大雅 (5AC)	
	満丸 瑞香 (5AC)	
	寺本 花音 (4AC)	

■第29回全国高等専門学校プログラミングコン

テスト		
競技アイデア部門		
競+棋	特別賞	松永 俊輔 (3AC)
		村井 海斗 (4MI)
		古川 照英 (2MI)
競技アイデア部門		
阿南合戦	特別賞	脇上 和也 (4MI)
		西崎 友輔 (5BC)
		扇塚 和希 (3HI)

(1) 同窓会記念行事積立金 合計 6,521,832円
 ◎積立金1 (定期預金口座) 4,522,321円
 内訳: 6,024,345 (前年度) -1,502,937 (戻入れ) +913 (利息) =4,522,321

◎積立金2 (普通預金口座) 1,999,511円
 内訳: 1,999,551 (前年度) +0 (H30積立金) =1,999,551

(2) 事務局収支決算

◆収入の部

項目	予算額(円)	収入額(円)	備考
前年度繰越金	90,438	90,438	平成29年度より
入会金	1,290,000	1,280,000	入会金:10,000円 平成30年度入学生(128名)
年会費	1,300,000	1,471,000	口座自動引落(1,800円×265名)、 コンビニ郵便振込(2,000円×360名)、 Paypal(2,000円×9名)、平成30年度卒業生(2,000円×128名)
寄附金	0	10,000	E10 坂本秀雄様 寄付金
預金利息	50	15	
積立金戻入れ	500,000	1,502,937	
その他	0	0	
計	3,180,488	4,354,390	

◆支出の部

項目	予算額(円)	支出額(円)	備考
事務手当	250,000	250,000	
事務費	250,000	459,993	
通信費	350,000	326,411	
会議費	250,000	248,380	関西権友会役員派遣 他
会報誌印刷費	900,000	923,623	
くま川祭り諸経費	200,000	346,258	現役学生の多数参加のため
母校後援費	100,000	100,000	スローパー、ブリッジコンテスト
同窓会PR活動費	70,000	70,539	高専祭わた菓子、卒業生祝賀壮行会紅白求肥餅代
会員名簿発行費	400,000	312,000	新卒者への配布
積立金	100,000	100,000	積立金2へ(H29年度は0円)
予備費	0	0	学生会応援費、特別支援金(バドミントン部)
次年度繰越金	-	1,132,768	平成31年度へ
計	2,870,000	4,269,972	

◆収入の部

項目	令和元年度 予算額(円)	前年度 予算額(円)	増減	備考
前年度繰越金	1,132,768	90,438	1,042,330	平成30年度より
入会金	1,280,000	1,290,000	-10,000	H31年入学生(128名)
年会費	1,500,000	1,300,000	200,000	
預金利息	50	50	0	
積立金戻入れ	1,000,000	500,000	500,000	
計	4,912,818	3,180,488	1,732,330	

◆支出の部

項目	令和元年度 予算額(円)	前年度 予算額(円)	増減	備考
事務手当	250,000	250,000	0	
事務費	450,000	250,000	200,000	
通信費	350,000	350,000	0	
会議費	250,000	250,000	0	
会報誌印刷費	900,000	900,000	0	
くま川祭り諸経費	300,000	200,000	100,000	
母校後援費	100,000	100,000	0	
大同窓会運営費	1,200,000	0	1,200,000	大同窓会に関わる運営費として
同窓会PR活動費	70,000	70,000	0	
会員名簿発行費	400,000	400,000	0	H30年度4期生 卒業生分+a
支部活動後援費	100,000	100,000		関東権友会、関西権友会
積立金	0	0	0	
予備費	542,818	310,488	232,330	
計	4,912,818	3,180,488	1,732,330	

< 令和元年度教員人事異動 >

発令年月日	内容	氏名	異動前の役職	異動後の職名
平成31年3月31日	定年退職再雇用	米沢 徹也	共通教育科・教授	共通教育科・特任教授
同上	定年退職再雇用	宮本 弘之	機械知能システム工学科・教授	機械知能システム工学科・嘱託教授
同上	定年退職再雇用	齊藤 郁雄	建築社会デザイン工学科・教授	建築社会デザイン工学科・特任教授
同上	定年退職	淵田 邦彦	建築社会デザイン工学科・教授	
同上	定年退職再雇用	池田 直光	生物化学システム工学科・教授	生物化学システム工学科・特任教授
同上	退職	石貴 文子	共通教育科・准教授	
同上	退職	松谷 祐希	機械知能システム工学科・助教	
同上	再雇用期間満了	久保田 智	共通教育課・嘱託教授	
同上	再雇用期間満了	松浦 弘明	技術教育支援センター・技術職員	

平成30年度本科卒業生・専攻科修了生 進学・就職一覧

本科卒業生就職一覧

【機械知能システム工学科】

JXTGエネルギー
 NTTコム エンジニアリング
 アドバンスドプランニング
 ソーデジタルネットワークアプリケーションズ (2名)
 ダイキン工業
 パナソニック アプライアンス社
 旭化成
 旭精機工業
 宇宙航空研究開発機構
 JALエンジニアリング
 アルファシステムズ
 トヨタプロダクションエンジニアリング
 トラスト・ネクストソリューションズ
 静科
 西島製作所
 明電舎
 関西電力
 九州サントリーテクノプロダクツ
 九州電力
 国土交通省九州地方整備局
 三菱電機システムサービス
 住友重機械モダン
 成田空港給油施設
 東海旅客鉄道
 日本空港テクノ
 日本鉄塔工業
 平田機工

【建築社会デザイン工学科】

JFEシビル
 JR西日本不動産開発

エヌ・ティ・ティ・インフラネット
 熊本市役所 (2名)
 TAK-QS
 オリエンタルコンサルタンツ
 コスモホーム
 合田工務店
 三井E&S鉄構エンジニアリング
 竹中工務店
 関西電力
 九鉄工業
 三井不動産レジデンシャルサービス
 西日本高速道路ファシリティーズ
 西日本高速道路
 大阪ガス (2名)
 中部国際空港施設サービス
 中部電力
 東海旅客鉄道
 東急建設
 八代市役所

【生物化学システム工学科】

DIC
 jig.jp
 JX金属 倉見工場
 アスカコーポレーション
 エーピーアイ コーポレーション
 カネカ
 キヤノン
 サントリーホールディングス (5名)
 阿蘇製薬
 化学及血清療法研究所
 花王 (2名)
 岩谷瓦斯
 協和発酵バイオ

九州サントリーテクノプロダクツ
 熊本製粉ロジスティクス
 資生堂
 昭和シェル石油
 雪印メグミルク
 第一三共プロファーマ (2名)
 沢井製薬
 東洋新薬
 日本マイクロバイオファーマ (2名)
 不二製油 (2名)

本科卒業生進学先一覧

【機械知能システム工学科】

東京工業大学
 名古屋大学
 熊本大学
 熊本高等専門学校専攻科 (15名)

【建築社会デザイン工学科】

武蔵野美術大学
 長岡技術科学大学 (2名)
 岐阜大学
 広島大学
 九州工業大学
 佐賀大学
 鹿児島大学
 熊本大学
 熊本高等専門学校専攻科 (8名)

【生物化学システム工学科】

東京工業大学
 広島大学
 熊本高等専門学校専攻科 (11名)

専攻科修了生就職一覧

エアポートメンテナンスサービス
 トヨタ自動車九州
 パナソニック コネクティッドソリューションズ社
 ファナック
 エイアンドティー (3名)
 化学及血清療法研究所 (2名)
 カネカ
 安川電機
 九州旅客鉄道
 住友不動産
 清水建設
 川崎重工業
 日本マイクロバイオファーマ
 日本電子
 TATO DESIGN 株式会社
 西日本高速道路 (2名)

専攻科修了生進学先一覧

電気通信大学大学院
 豊橋技術科学大学大学院
 京都大学大学院
 九州大学大学院 (2名)
 熊本大学大学院 (4名)

◆卒期・卒業年対応表

卒業年	S54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	H1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27		H27	H28	H29	H30	H31
卒 M,E,C	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37						
期 B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	-	MI,AC,BC	1	2	3	4	5

※新学科 (MI,AC,BC) の卒期を旧学科 (M,C,B) の卒期 (通し) に換算する場合は、新学科卒期に36 (MI,AC) または21 (BC) を足す。

事務局からのお知らせ

年会費について

年会費(2,000円)の徴収についてご理解とご協力をお願い

同窓会の運営は会員の皆様からの会費で賄われております。年会費の徴収にご理解とご協力をお願い申し上げます。年会費の納入方法は次の3つの方法があります。

①郵便局・コンビニ振込

同封の振込用紙にて、全国の郵便局およびコンビニエンスストアで振り込めます。

②口座自動引落し

お持ちのゆうちょ口座や銀行口座より、毎年12月中に自動的に引落します。この方法を利用されますと、銀行に振り込みに行く手間が省けますし、さらに特典として年会費が1,800円になります。また、会員名簿を希望される方には“無料”で配布いたします。

③PayPal(ネット決済)

H27年度より、PayPalによるネット決済ができます。楷友会のホームページから年会費ネット決済のページにお進みください。<http://after5.y.kumamoto-nct.ac.jp/>

【連絡事項】

- 1) 会報誌に年会費2,000円の振込用紙が同封されていない方は、既に納入済みのH30年3月卒業生と今年12月に引落し予定の口座自動引落しの方です。
- 2) ②の口座自動引落しを希望される方は、事務局に電話かメールにて「年会費を口座自動引落しにする」とご連絡ください。手続きに必要な書類を発送します。
- 3) 口座自動引き落としの手続きをされている方で、転勤等により登録された銀行が変更になり、お引き落としができない方がいらっしゃいます。ご連絡いただければ書類をお送りしますので、新しい口座のお手続きをお願いいたします。

同窓会名簿発行のお知らせ

4年に1度の名簿発行を2020年12月に行います。そのため、今年11月頃から現状調査と注文受付を開始します。

業務は小野高速印刷株式会社(大分市)に委託しています。それ以外の業者は同窓会とは無関係ですのでご注意ください。

同窓会名簿は同窓会・学校・会員間の交流のために発行しているものです。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

会報誌のPDF版について

会報誌のPDF版を同窓会web上で閲覧できます。

<http://after5.y.kumamoto-nct.ac.jp>

ID : ynctafer5 PW : S4ppNh



楷友会 Web

学生支援基金への寄付募集

平成20年度に同窓会予算(予備費)の30万円を運営資金として学生支援基金を立ち上げました。これは進級・卒業を目指す学生が、不測の事態のために、授業料未納で退学となることを避ける目的で、保護者に一時的に無利子で授業料の一部(上限10万円(3年以下は5万円)まで)を貸与する学生支援の一つです。昨年度も申請があり、支援金の貸与によって学生は進級・卒業できました。この学生支援基金は、卒業生からの寄付金によって運用することになっており、当初の目標額である30万円は既に集まりましたが、更なる学生支援の拡充を目指して、引き続き寄付を募集しております。寄付金の額は設定しておりませんので、少額でも受け付けております。基金専用の銀行口座を開設しておりますので、お手数ですが最寄りの銀行よりお振込をお願いいたします。通信欄にお名前、学科・卒期(MECB、MI、AC、BC〇期)等をお書きください。次回のAfter5で寄付して頂いた方のお名前のみを掲載させていただきますのでご了承ください。

■ 肥後銀行 八代支店 普通 1927007

■ 熊本高専八代キャンパス同窓会「楷友会」学生支援基金
出納担当 南部元義

住所変更手続きのお願い

引っ越し等で住所を変更された方は、同窓会事務局へのご連絡を忘れずをお願いいたします。

同封の住所変更届を郵送またはFAX等でお送りいただくか、電子メールをafter5@kumamoto-nct.ac.jpあてにお願いします。同封の住所変更届以外の場合、原則として本人確認を行いますので、ご理解ください。

編集

Editor's Note

後記

令和初という言葉にすでに聞き飽きた感がありますが、令和初の会報を送り出すことができました。

ご投稿いただきました皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。

今回は、在校生の活躍を同窓生の皆様に披露したく、ロボコンをはじめとする在校生の記事に誌面を割かせていただきました。

在校生の活躍は同窓生にとって1つの励みになるかと思ひますし、同窓生の応援や近況の記事は在校生にとっても励みになると思ひます。新元号になってからも会報や同窓会活動が、同窓生と在校生・学校の「Beautiful Harmony = 美しい調和」に貢献できれば幸いと存じます。今後とも同窓会活動へのご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(吉永)